



# あまみ 市議会だより

No.55  
2019.12



令和元年11月10日（日） 第12回 市民体育祭



## 第3回定例会

令和元年9月3日～10月7日

発行／奄美市議会

編集／奄美市議会だより編集委員会

〒894-8555

鹿児島県奄美市名瀬幸町25番8号

TEL：(0997) 52-1111

FAX：(0997) 52-2815

Eメール：gikai@city.amami.lg.jp

- 第3回定例会一般質問・・・・・・・・・・2P～6P
- 第3回定例会常任委員会の審査概要・・・・・・・・7P
- 第3回定例会の主な議案・・・・・・・・・・8P～9P
- 決算特別委員会の審査概要・・・・・・・・・・10P
- 活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・11P
- お知らせ／あとがき・・・・・・・・・・12P

# 市政を問う



9月4日・5日・6日の3日間で14名の議員が市政全般にわたる施策の状況や方針などについて、市当局に問い質しました。要約をご紹介します。

左記の二次元バーコードを、スマートフォン等のバーコードリーダーで読み取るか、奄美市議会ホームページで一般質問の録画中継がご覧いただけます。

議会録画配信

※質問順に掲載

議会録画配信はこちら

1 日目



- 1 川口 幸義
- 2 栄 ヤスエ
- 3 関 誠之
- 4 林山 克巳
- 5 橋口 耕太郎

2 日目



- 1 与勝広
- 2 三島照
- 3 奥輝人
- 4 渡雅之
- 5 崎田 信正

3 日目



- 1 元野 景一
- 2 戸内 恭次
- 3 竹山 耕平
- 4 安田 壮平

## 市長の政治姿勢について



川口 幸義  
(自由民主党)

**問** 建設行政について

**答** 奄美市市民交流センターの整備計画の経過については、平成28年度から基本構想・基本計画の策定に取り組み、平成29年度に住民説明会等を開催後、基本設計をまとめ、平成30年に実施設計を行い、今年度は解体工事まで終了した。工事完成は令和2年度中を目指して進めているところである。奄美市市民交流センター建築主体新築工事について、制限付一般競争入札を行って今回の公募期間を設定した。結果として特定建設工事共同企業体JV1社のみ応募となり再々入札まで行ったがJVの入札価格が予定価格に達しなかったためである。

**問** 電気設備行政について

**答** 電気設備も含む指名業者の選定については、地元業者で行える工事については、もちろん地元優先で選定することになるが、今回の住用地区道路冠水対策整備事業の内容は、排水ポンプ及び原動機減速機及びこの機器に付随する機械設備の製造であることから、これらの機器を確実に作動させることを目的として、奄美市に指名願いを提出している機械設備の製造メーカーを選定している。

**【その他の質問】**

- 和瀬集落避難道路について
- 赤木名地区下水道事業について



## 福祉政策、市民生活について



栄 ヤスエ  
(公明党)

**問** 「SDGs」を市政に活かす取組について

**答** 総合戦略や総合計画の改訂作業を進める中で、具体的な目標設定など地域の社会的持続性を高めるよう取り組んでいく。

**問** 断らない相談支援について

**答** 市民の相談を子どもから障害者、高齢者まで丸ごと受け止めるべく、今年度から県主催で「相談支援包括推進員」の養成を行っている。

**問** 市営住宅入居について

**答** 「奄美市住生活基本計画」「奄美市公営住宅等長寿命化計画」により高齢世帯や身体障害者世帯のニーズに合うよう市営住宅整備計画を行う。

**問** Net119緊急通報システム導入について

**答** 今年度末までに導入を予定している。

**問** 聴覚障害を表す耳マーク表示について

**答** 新庁舎・各支所等で導入を検討する。



**問** コミュニケーションボードの導入について

**答** 導入や啓発に向け今後、検討する。



**【その他の質問】**

- 電子母子手帳の導入について
- 民生委員・児童委員の全国一斉改選について

## 会計年度任用職員制度の導入について



**関 誠之**  
(社会民主党)

**問** 陸上自衛隊・奄美駐屯地における米軍との合同訓練についての市長の見解は

**答** 「自衛隊は良いが米軍が来るというのがあれば私は反対する」の発言は、「米軍基地建設」という話なら反対する」との主旨で申し上げた。合同訓練は国家間の安全保障を目的とした訓練で、一自治体として意見する立場にない。訓練期間中の安全確保等に対し万全の対策を取るよう九州防衛局に要望した。新たな情報がある場合は議会、市民と共有したい。



**問** 会計年度任用職員制度の導入について

**答** 令和2年度から施行される。人件費の総額は約8億円で、約2億円の増額を見込んでいる。会計任用職員に移行予定の非常勤・臨時的任用職員は447人の予定である。移行に際しての採用は選考（書類・面接）とし、現在の賃金は保証したい。

**問** 奄美市の財政状況の現状と今後について

**答** 主な財政指標の状況は、計画的な基金積み立てにより将来負担比率が04ポイント改善したが、実質公債費率が02ポイント、経常収支比率も11ポイント悪化している。今後の投資事業も、施設の維持管理を含め、実施計画及び財政計画に基づいた計画的な事業実施を図っていく。

【その他の質問】

○学校給食費と滞納整理状況  
○児童生徒に対するフッ化物洗口の現状と今後

## 奄美市の未来像についての市長見解は！



**林山 克巳**  
(自民新風会)

**問** 経済状態について（消費税・働き方改革・5年後の展望他）

**答** 消費税率引き上げ後は、社会保障分野の充実・安定化に寄与し、消費活動の市民への不安には、軽減税率制度の導入や補助金など各種施策などにより措置を検討する。更には、フリーランス支援事業を推進し、インフラ整備など、自衛隊関連事業において経済状況は改善傾向である。

**問** 自衛隊部隊開設その後について（財政状況とその恩恵）

**答** 7月末の1昨年と昨年（19名増）となり、奄美警備隊の効果の表れである。また、地域の行事や草刈り作業などを通じて共存共栄を図り良好な関係の構築に取り組んでいる。

**問** 世界自然遺産登録地へ向けての取組について（ネコ問題含む）

**答** ノネコ（6000〜1200頭）・飼い猫（2897頭）、80頭捕獲（殺処分0頭）、飼い猫不妊去勢手術率（令和元年7月末現在）47.6%である。LC（格安航空会社）ピーチ成田・関西便も就航により、奄美の交流人口を支え、奄美群島の発展に寄与している。大型クルーズ船の誘致は、身の丈にあったクルーズ船の寄港誘致に取り組む。

**問** 教育行政についての教育長の見解について

**答** 生まれ育った奄美の自然や文化に誇りをもつ児童生徒の育成を図ることを目指し、花づくり・花いっぱい運動を通して情操教育を推進している。



## 防災行政について



**橋口 耕太郎**  
(公明党)

**問** 防災訓練の直近3年間の参加者数は

H29年度	51団体 2,171人
H30年度	39団体 1,828人
本年度	34団体 1,541人

**答**

この数値については、要介護認定結果のもので、認定を受けていない方もいるため若干多くなると認識している。

H28年度	1,617人
H29年度	1,570人
本年度	1,550人

**問** 直近の認知症患者数は

**問** 認知症の行方不明者の対応は

**答** 帰宅困難の恐れのある方は事前に市・警察・消防で共有するSOSネットワークに登録し、万一の際に備えている。近年、市でも行方不明の事案があるため、関係機関との更なるネットワークの強化を行う。

**問** 自主防災組織の組織率は

**答** 8月末で笠利・住用は100%。名瀬が52.1%、全体で59.7%。組織率向上のため、自治会等への組織設立方法や助成制度の説明等を行っている。



## 奄美豪雨災害の 検証と総括について



与 勝広  
(公明党)

**問** 奄美豪雨災害から来年は10年目という節目を迎えるが奄美豪雨の検証と総括が今日までどのように生かされてきたのか

**答** これまで、出前講座や防災に関する講演などにおいて、この奄美豪雨災害の教訓をテーマとして取り扱ってきたほか、検証記録誌を作成し図書館、学校、関係行政機関等へ配布、市ホームページにも掲載し広く活動しているところである。来年で10年を迎えることから、現在奄美豪雨災害を振り返りその経験を次の世代へ引き継ぐためにも、防災に関するシンポジウム開催の検討を進めている。

## 市長の政治姿勢について



三島 照  
(日本共産党)

**問** 日米合同訓練の今後について市長の見解は

**答** 陸上自衛隊と米陸軍の部隊がそれぞれの指揮系統に従い共同して作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動により共同対処能力の向上を図るとされている。又米軍の資機材の搬入は無く来島する米軍兵は30人程度で宿泊も含め全て奄美駐屯地内における訓練となっている。

**問** 市民への説明会について日程調整の現状は

**答** 11月中旬の開催で調整している。

**問** 奄美市景観計画について高さ規制はあるのか

**答** 明確な高さ制限はしていない。過度な規制により経済活動が抑制される事態は望ましくないものではない。高さ等の制限による景観形成と経済活動促進のバランスを取ることが重要と認識している。

**問** 本港地区整備事業について、大型商業店舗についての考え方は

**答** 公有水面埋立法に基づき竣工認可告示の日から起算して10年間は土地の分割転売、地上権等の設定は出来ずまた指定以外の利用も出来ない事として制限している。

**問** 地域運営組織とはどのような組織か

**答** 小学校区を一つのエリアとして自治会、市民団体やNPO法人なども参加し地域を運営する自主組織である。

## せとくまびの振興



奥 輝人  
(自由民主党)

**問** 奄美市における過去3年間の実績について

	年度		
	H30	H29	H28
収穫面積	536ha	533ha	517ha
生産量	21,375t	26,915t	25,831t
栽培面積	596ha	593ha	603ha

**問** 「結いの島」農業モデル事業の目的とその効果について

**答** 平成29年度から令和元年度の3年間の事業で、単収低下により生産量が伸び悩んでいる状況の中、その要因に堆肥不足が挙げられる。本市では、堆肥供給量が間に合っていない為、与論町からの余剰堆肥を活用し、実証圃場を設置して、土づくり

を実践し単収向上を図る事業である。その効果実績は、平成30年産において、茎数、茎重、品質、単収ともに施肥区の圃場において良い結果となっている。堆肥投入の効果を生産者へ周知していく。

**問** 栽培のポイント、畦幅140cmについて

**答** 徳之島、沖縄県では畦幅を120cmより広くした方が品質等が良く収量も上がり、現在試験段階との事。糸満市の事例報告では、除草剤を使わず、小型トラクターで何度でも中耕除草が可能となり管理作業が軽減され陽射しが万遍なくあたり単収向上につながっているとの事である。



▲ハイクリブームによる  
除草剤散布

## 教育行政について



渡 雅之  
(奄美無所属クラブ)

**問** 花いっぱい運動の成果と課題は何か

**答** 学力向上、情操教育を図り、感性を育み環境教育を推進する。成果については前述した項目で一定の成果があった。また、審査時期を1か月程前倒して実施したい。又、地域の二員としてそれぞれの地域と連携したい。



▲整備された花壇

**問** 学校給食センターの運営について

**答** 稼働して1年が経過したが、配送中の事故はない。今後も安全に給食を子供たちに届ける。食物アレルギーについては、文科省の「食物アレルギー対応指針」に添い、学校・家庭・給食センターの三者で献立表等を共有し、事故防止に努めている。

**問** 金作原への入山規制について

**答** 金作原林道のゲートから先に行く際は「奄美群島認定エコツアーガイド」の同伴をお願いしている。

**問** 名瀬クリーンセンターの運営について

**答** クリーンセンターの埋立容量は、あと9年で満杯になることから、関係市町村と共に協議したい。新施設の候補地は4箇所あるが、立地条件、利便性等を考慮して検討したい。

【その他の質問】

○道路行政について

## 磁気ループの早期設置・導入を



崎田 信正  
(日本共産党)

**問** 難聴者ために施設等に磁気ループを早期に設置・導入を

**答** 磁気ループ（ヒアリングループ）についてはそのニーズと効果は認識している。実証実験ができないか関係部署と協議したい。

**問** 子ども医療費無料化を18歳までに拡充を

**答** 県内では16市町村が実施している、奄美では喜界町と大和村が実施（当市での）対象拡大については、財政状況を見極めながら検討したい。

**問** 償還払いの医療費の窓口無料化について

**答** 安心して医療を受けられる環境は子育て世代の安心につながり、子育て支援、少子化対策の観点から必要性は理解している、子ども医療費、ひとり

り親家庭医療費、重度身障者医療費で独自の減免措置は国保負担金の減額措置がされることから、財政状況を慎重に見極め、国や県の動向、各自治体と連携し検討したい。

【その他の質問】

○通学路、生活道路の安全対策について

○ふるさと納税制度の現状と展望について

○消費税増税での課題は

・プレミアム付商品券について

・適格請求書等保存方式（インボイス制度）について

○公契約条例制定にむけた進捗状況は

○小宿区画整理事業の見通しと対策について

## 国の法令改正が奄美市に及ぼす影響



元野 景一  
(自由民主党)

**問** 国のふるさと納税に関する法令改正が、奄美市に及ぼす影響をどのように見ているか、また、法令改正を契機として、ふるさと納税に対する新たな取り組みを行っているか

**答** 総務省は、ふるさと納税の健全なる発展を図る必要があるとして、本年6月1日からの地方税法等の一部を改正する法律の制定に伴い、返礼品の割合や地場産品であることなどをふるさと納税の基準として定めた。本市は国が示すルールを遵守しながら、ふるさと納税の適正な制度運用を行っていききたい。

**問** 奄美市における、平成28年度から平成30年度までの各年度の「企業版ふるさと納税」の実績

**答** 企業版ふるさと納税は、国が認定した地方創生事業に対し企業が寄附を行った場合に、最大で寄附額の6割が税額控除される制度だ。実績は、平成28年度が奄美空港ターミナルビル拡張事業2件100万円、光バンドバンド整備事業に1件100万円、平成29年度が光バンドバンド整備事業に1件100万円の寄附があった。平成30年度は無かった。



子育て支援・交通渋滞解消。  
まじゅくり



戸内 恭次  
(奄美無所属クラブ)

**問** 世界自然遺産登録になった小笠原同様、アカギを駆除する必要はないのか

**答** 奄美・沖縄における科学委員会において、アカギが特別問題視されるような議論はなかった。

**問** 子どもの貧困対策推進法が改正され、市町村も策定を求められることへの対応について

**答** 現時点で県内では計画策定済の市町村はないが、関係部署と協議しながら検討している。

**問** 子どもへの朝食提供について

**答** 支援が必要な家庭に対し、養育支援という形で係が家庭訪問し、朝食提供する場合もある。



**問** 交通渋滞解消対策での喫緊の課題は三儀山トンネル開通にあると思うが、この点について

**答** 将来において整備の必要性は十分認識している。県の方へも土木事業連絡会等で要望している。まずはおがみ山バイパスを優先して、その後の整備とする。

**問** 末広・港土地地区画整理事業における集客性を高める事業について

**答** 市本庁舎が完成し、市民交流センターが今年度着工する。来年度以降は「子育て・保健・福祉複合施設」が着工予定である。

**問** 今年度から施行された「奄美市空き家等対策の推進に関する条例」。現在の取り組み状況は

**答** 空き家等の対策を総合的かつ計画的に実施し、所有者等の責務その他必要な事項を定め、市民の安全安心、生活環境の保全を図る。今後は市内全域の空き家の実態調査・現地調査を行い、計画を策定するための管理システムを構築する。また、空き家対策協議会を設置する計画で、委員に不動産、建築に関する知識経験者、弁護士、消防及び警察等を予定。

「空き家対策事業」への  
取組について



竹山 耕平  
(自民新風会)

**問** 子育て・保健・福祉複合施設に対する市民の期待度は高い。中身(遊具等)の充実も図るべきではないか

**答** 昨年度開催のワークショップでは177名が参加し様々な提案や要望があり基本設計をまとめた。「誰もが気軽に利用でき、多世代交流で「結」の心が受け継がれ、これからの奄美のシンボルとなる施設」の実現に向け、ハード部分以外にも、遊具や部屋の眺えなどの細かな仕様を検討していく。

**問** 2020国体相撲協議開催への取組について

**答** リハーサル大会は概ね順調に終了。暑さ対策の課題についても会場内の気温等を検証し、冷風機や送風機を増設するなど対応を検討する。

**問** 「再発防止対策検討委員会」に御遺族等も加わることは、進捗は

**答** 8月20日(こ)遺族に面会して謝罪した後、委員への要請を行い、ご了承いただいた。第三者調査委員会の委員へも要請している。

地域おこし協力隊の  
積極的な活用を!



安田 壮平  
(自民新風会)

**問** 笠利に大島北高の活性化を任務とする地域おこし協力隊を配置しては

**答** 瀬戸内町では古仁屋高校に2名を配置している。北高や関係者と意見交換を行い課題を整理したい。

**問** 住用に環境保全や観光メニュー創出を任務とする協力隊を配置しては

**答** 地元NPO法人が中心となつて環境保全や文化継承などに取り組んでおり、今年から元協力隊とも連携・協力して活動している。

**問** 第三者調査委の調査報告書の提言を実行されたい

**答** 市HPでの公表や各学校に報告書を常備して職員会議・研修等で活用するよう指導している。特に体罰防止については専門的な研修を全ての学校で実施している。

**問** レジ袋削減について、国の法制化の方向性や地元企業の動向は

**答** 経産省によると、来年4月からの実施に向け調整中とのこと。市内の主な企業では1社が9月からレジ袋を有料化し、他社においても検討中である。



# 第3回定例会 常任委員会

## 審査概要

9月11日 文教厚生委員会  
9月12日 産業建設委員会  
9月13日 総務企画委員会

上記の日程で議案について審査しました。  
委員会の審査について一部ご紹介します。

### 総務企画委員会

バイオマス資源活用事業費 ▼200万円

環境省の公募事業で採択された本事業において、地域内バイオマス資源（焼酎かす・下水汚泥など）の有効活用による市内での新産業創出に向けて、外部から講師を招き官民による勉強会を実施するもの。



**日米合同訓練中止を求める議会決議を要請する陳情**  
▼不採択とすべきもの

陳情事項

1. 奄美駐屯地での日米合同訓練に反対を決議すること。
2. 奄美市内の公的施設を合同訓練用に供与させないよう決議すること。

議員からの主な意見

○陳情の中で、「敵地攻撃まで視野に入れる」「専守防衛を逸脱」などの表現が使われているが、この訓練は攻めるのではなく防衛を基にした訓練である。

○あくまで日本国土を守るための共同訓練であり、陳情には反対する。

○米軍と自衛隊の対処能力を引き上げるのが目的だとすれば、専守防衛の観点から踏み出しており陳情に賛成である。

### 産業建設委員会

官民連携事業導入可能性調査業務 ▼2000万円

測候所跡地に計画しているバスセンター建設について、官民連携事業としてのPFIの導入可能性についての調査を行うための費用。  
PFI：公共施設に関して、自治体が建設するのではなく、民間資金を利用して民間事業者に施設整備と公共サービスの提供を委ねる手法。

問 PFI事業への取り組みについて

答 この事業については、中心市街地活性化協議会の中で提言をされている。トータルとして、市の施策のバランスもあり、そこも含めての検討をさせていただきたい。

**全国一律最低賃金制度の実現を求める陳情**  
▼不採択とすべきもの

陳情事項

1. 日本政府に対し、ワーキングプアをなくすため、政治決断で最低賃金をすぐに1000円以上に引き上げるよう求めること。
2. 日本政府に対し、「全国一律最低賃金制度」の確立など、地域間格差を縮小させるための施策を進めるよう求めること。
3. 日本政府に対し、中小企業への支援策を拡充するよう求めること。また中小企業・小規模事業所への直接支援として中小企業とそこで働く労働者の社会保険料負担や税の減免制度などを実現するよう求めること。

議員からの主な意見

○鹿児島地方最低賃金審議会にて現行の761円から29円増の790円との答申があった。時給1000円に向けて一歩ずつ進んでおり、いきなり1000円とするのは時期早尚ではないか。

### 文教厚生委員会

介護保険支援事業費 ▼1746万8千円

地域介護・福祉空間整備推進交付金として、高齢者施設等の防災・減災・耐震化や災害時の大規模停電に対応するための自家発電機の設置など施設整備のために国から交付されるもの。内訳は自家発電機設置が3件、ブロック塀改修が1件。

介護保険事業費準備基金 積立金 ▼8161万3千円

問 どのような場合に切り崩すのか

答 昨年度は第7期計画期間の1年目であり、剰余繰越金があると想定していたが、今後2年目・3年目のいずれかに不足が生じた場合に切り崩すことが考えられる。そうならなかった場合、次期計画期間の保険料算定に際して切り崩すことにより、保険料の上昇を抑えることも考えられる。



**奄美市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について**

問 給食副食費についても自治体独自で無償化しようという議論はなかったのか

答 自治体によってはそのような検討をしているところもあるようだが、本市においては、今後全体の財政状況や他自治体の状況などを見ながら検討していきたい。

議案第 92 号	平成 30 年度奄美市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第 93 号	平成 30 年度奄美市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第 94 号	平成 30 年度奄美市ふるさと創生人材育成資金特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第 95 号	平成 30 年度奄美市と畜場特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第 96 号	平成 30 年度奄美市交通災害共済特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第 97 号	平成 30 年度奄美市水道事業会計の利益処分及び決算認定について	原案可決及び認定	特別会計
陳情第 98 号	議決事項の一部変更について(財産の取得(消防ポンプ自動車))	原案可決	本会議
発議第 7 号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について	原案可決	本会議
発議第 8 号	奄美市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	本会議

## 請願・陳情の状況

受理番号	件名	提出者	結果	所管委員会
陳情第 6 号	日米合同訓練中止を求める議会決議を要請する陳情	奄美の自然と平和を守る郡民会議 議長 星村 博文	不採択	総務企画

○ 前定例会からの継続審査

受理番号	件名	提出者	結果	所管委員会
陳情第 2 号	全国一律最低賃金制度の実現を求める陳情	奄美地区労働組合総連合 川上 真理	不採択	産業建設

## 賛否が分かれた案件

賛否が分かれた案件を議員ごとに掲載しています。(○は賛成・●は反対) ※師玉敏代議員は議長職の為、表決権はありません。

議案番号・件名	議員名(議席番号順)																			【○賛成数】	【●反対数】							
	橋口耕太郎	栄ヤスエ	津畑誠	師玉敏代	松山さおり	林山克巳	与勝広	大迫勝史	渡雅之	平川久嘉	元野景一	川口幸義	竹山耕平	安田壮平	西公郎	関誠之	三島照	崎田信正	戸内恭次			奥輝人	伊東隆吉	多田義一	橋口和仁	里秀和		
議案第 90 号 平成 30 年度奄美市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	21	2	
議案第 97 号 平成 30 年度奄美市水道事業会計決算認定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	21	2
陳情第 6 号 日米合同訓練中止を求める議会決議を要請する陳情	●	●	●	-	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	4	19
陳情第 2 号 全国一律最低賃金制度の実現を求める陳情	○	○	●	-	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	8	15	

# 第3回定例会の議案

\*付託委員会の一般会計決算等審査特別委員会は「一般会計」、特別会計決算等審査特別委員会は「特別会計」と記載しています。

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
	専決処分の報告について (専決第5号 和解及び損害賠償の額を定めることについて)		
	専決処分の報告について (専決第6号 和解及び損害賠償の額を定めることについて)		
議案第68号	令和元年度奄美市一般会計補正予算(第2号)について	原案可決	全委員会
議案第69号	令和元年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	文教厚生
議案第70号	令和元年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	文教厚生
議案第71号	令和元年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	文教厚生
議案第72号	令和元年度奄美市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	産業建設
議案第73号	令和元年度奄美市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	産業建設
議案第74号	令和元年度奄美市水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決	産業建設
議案第75号	地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第76号	奄美市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第77号	奄美市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第78号	奄美市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例に制定について	原案可決	文教厚生
議案第79号	奄美市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第80号	奄美市特別用途地区内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第81号	奄美市立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第82号	奄美市給水条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第83号	町の区域変更について	原案可決	総務企画
議案第84号	工事請負契約の締結について	原案可決	文教厚生
議案第85号	工事請負契約の締結について	原案可決	文教厚生
議案第86号	平成30年度奄美市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	一般会計
議案第87号	平成30年度奄美市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第88号	平成30年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第89号	平成30年度奄美市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第90号	平成30年度奄美市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計
議案第91号	平成30年度奄美市訪問看護特別会計歳入歳出決算認定について	認定	特別会計

# H30

# 決算に関する特別委員会

委員会で行なわれた審査の一部をご紹介します。

## 一般会計決算等審査

### 総務費

**問** 人口減少が続く中で、決算の市税額が5千万円伸びている理由は

**答** 中間所得層が増え、着実に市民の所得が増えていると思われる。

**問** ふるさと納税の実績は

**答** 一般寄附で7,093件、2億8,758万5,500円。  
(H29決算では5,339件、4億3,052万4,351円。)

### 民生費

**問** 交通機関などの利用補助券としてお達者ご長寿応援事業の発行率が74.8%にとどまっているが、高齢者用おむつの購入費など用途を拡大すべきでは

**答** 高齢者の外出機会を増やすことが本来の趣旨。集落単位でのバス借り上げ料にも使用できる形で拡充している。



### 商工費

**問** 大浜海浜公園の大規模リニューアル事業が終了したが、評価はどうか

**答** バースハウスにシャワー室を整備し2階の新設レストランも好評である。海洋展示館利用者も過去最高の約4万2千人に達し、一体的に良い運営が行われていると思われる。

### 土木費

**問** 市道伊津部勝・名瀬勝・小湊線の改築事業について、2006年度から開始し2021年度終了予定だが、今後の見通しはどうなっているか

**答** 用地取得が難航している。利権者が複数いて意見集約に時間を要している。用地取得率は67%。事業の見直しも検討したい。

### 教育費

**問** 小中学校、幼稚園の空調設備整備事業の進捗状況はどうなっているか

**答** 市役所近くの名瀬小と名瀬幼稚園は終了。他校については来年3月までに工事完了を見込んでいる。設置後の電気料金のコストは年間全体で1,800万円と試算している。

## 特別会計決算等審査

### 平成30年度奄美市国民健康保険事業特別会計

歳入総額53億833万9千円、歳出総額55億2828万9千円となり、実質収支額は2億1995万の歳入不足となった。国民健康保険加入者は7336世帯(31.2%)、1万1255人(26.2%)となっている。

**問** 市税等収納嘱託員の横領事件について

**答** 市税等収納嘱託員の横領事件に際し52名分、297万5698円の補てんを行ったが、引き続き被害額全体の解明に向けて取組中である。

### 平成30年度奄美市介護保険事業特別会計

歳入総額49億3645万9千円、歳出総額47億8092万2千円となり、実質収支額は1億5553万7千円の黒字となった。名瀬地区2076名、住用地区142名、笠利地区492名、計2710名が要介護認定を受けている。

**問** 本市の介護認定率について

**答** 本市における介護認定率は20.8%であり、全国18.1%、県19.8%と比べ、高い数値となっている。

### 平成30年度奄美市水道事業会計

損益計算書において、上水道の経常利益が2906万8363万、簡易水道の経常損失が1038万1946円となり、事業全体としての純利益は1868万6417円となった。前年度と比べ、給水戸数は29戸増加、配水量は23万4858m<sup>3</sup>/年の減少となっている。

**問** 人口減少や老朽化した管路の補修等により、水道料金の値上げが心配されているが

**答** 全体的な資産管理計画を作成し、長期的な経営計画の中で料金水準を検討したい。



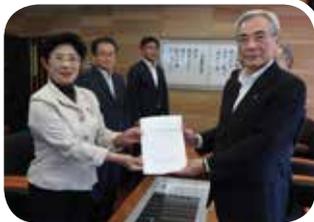
### 平成30年度奄美市ふるさと創生人材育成資金特別会計

歳入総額2880万1544円、歳出総額1747万8825円となり、実質収支額は1132万2719円の黒字となった。教育奨学生は新規17名、継続30名、計47名となり、1740万円の教育資金貸付を行っている。

**問** 来年度より給付型奨学金制度が始まるが、本市の奨学金について制度等の変更はないのか

**答** 本市の奨学金と併用可能である。給付型とすると原資が不足するので、しばらくは現状のまま対応し、今後の検討課題としたい。

## 政策立案推進会議



奄美市議会では議会活性化の一環として、政策立案推進会議を発足し、本市における問題や課題に対し調査研究を行うこととしております。今回はテーマを「子ども・子育てに関すること」とし、現場視察などを行った上で政策提言書を作成し10月7日に師玉議長より朝山市長へ提出しました。

## 議員研修会



奄美市議会では、毎年議員研修会を行い議員の資質の向上に努めています。

令和元年度第1回議員研修会は、8月19日に市役所7階第一委員会室にて講演会を開催しました。講師には、(公財)日本交通公社観光政策研究部長 山田雄一氏を招き、「観光推進における財源確保について」をテーマに講話をいただきました。

## ひかり議会

令和元年8月20日に奄美市中学生ひかり議会が行われ、市内の中学生が奄美市のさまざまな課題を取り上げ市当局に質問しました。



市内12校 31名の生徒が参加しました。

## 任期満了

平成27年11月20日から24名でスタートした奄美市議会が、令和元年11月19日をもって任期を満了しました。



平成27年 改選後初の議会



令和元年 改選前最後の議会

年賀状などのあいさつ状は  
禁止されています。

(公職選挙法第147条の2)

政治家は、その選挙区内にある者に対して年賀状・寒中見舞状等のあいさつ状を出すことが禁止されています。

皆様のご理解とご協力をお願い致します。

## 議会の動き

《8月》

- 3日 奄美まつり舟こぎ競争
- 4日 奄美まつりパレード
- 6日 議会だより編集委員会
- 19日 議員研修会
- 20日 奄美市中学生ひかり議会
- 22日 県市議会議長会定期総会/伊佐市
- 27日 議会運営委員会
- 28日 政策立案推進会議
- 29日 議会活性化検討委員会

《9月》

- 3日 議会開会・全員協議会
- 4日 一般質問
- 5日 一般質問
- 6日 一般質問・議会運営委員会
- 10日 本会議・全員協議会
- 11日 文教厚生委員会
- 12日 産業建設委員会
- 13日 総務企画委員会
- 19日 政策立案推進会議
- 20日 本会議・全員協議会
- 24日 決算審査等特別委員会
- 25日 決算審査等特別委員会
- 26日 決算審査等特別委員会
- 27日 決算審査等特別委員会

《10月》

- 7日 最終本会議・全員協議会  
政策立案推進会議提言書提出  
令和元年8月九州北部豪雨災害  
義援金の送達  
陸上自衛隊奄美駐屯地視察
- 16日 県市議会議長会政務調査(～19日)  
/神奈川県藤沢市・北海道稚内市
- 27日 奄美市議会議員選挙

## 第4回定例会の予定

12月

2019

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6 開会	7
8	9	10	11	12	13 本会議	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24 最終 本会議	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

## 議会をご覧になりませんか？

### 「傍聴」

議会は傍聴できます。  
(事前連絡は不要です)  
奄美市役所名瀬庁舎8階  
にお越しください。

### 「議会中継」

議会の様子をインターネット  
で生中継しています。  
是非ご覧ください。

奄美市議会 議会中継 

令和元年11月20日から  
新しい奄美市議会が始まりました。  
改選後初めての定例会です。

## 編集あとがき

令和元年節目の年、定数24名から2減の22名に変更され、初めての奄美市議会議員選挙が行われました。奄美市の舵取りを担う新議員22人の顔ぶれが決まりました。市民にも記憶に残る選挙であったと同時に新しい令和の幕開けでもありました。議員一丸となって輝かしい奄美市の未来に期待と希望をもって、これからの4年間取り組む決意をお約束いたします。

奄美市新庁舎・末広・港土地区画整理事業・名瀬港マリントウン整備事業などいろいろな事業を推進し、街並みも変化を遂げようとしています。同時に人口減少など少子高齢化の問題、また子育て世代の環境整備など進めなければならない大事な問題が山積しています。昭和・平成・令和と時代は変わり、多様性価値観が生まれ時代のスピードの変化に柔軟に対応することこそが、最も大切な事になってきています。

ご挨拶が後になりましたが、2年前に議会だより編集委員長に任命され、委員の指導の中で新体制がスタート致し、議会事務局の協力のもと、市民の皆様によりわかりやすい紙面づくりと、常に新鮮な議会情報発信の窓口としての役割を認識して、委員一同心を一つにして邁進してきました。まだまだ、不十分ではありますが、議会だより編集委員会を代表いたしまして市民の皆様到最后のお礼と挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございます。

(林山 克巳)

## 市議会だより編集委員会

〈委員長〉 林山 克巳  
〈副委員長〉 松山 さおり  
〈委員〉 元野 景一  
          関 誠之  
          大迫 勝史  
          津畑 誠

